

第11回中国・四国・九州・沖縄地区  
大学図書館職員フレッシュパーソンセミナー



# 資料管理(目録情報)

---

広島大学図書館  
瀧脇有姫



# 図書館業務とは？

## サービス

- 図書館資料を図書館や研究室に配備
- 図書館資料の貸出・返却・各種サービス
- 図書館設備の提供
- 参考調査相談、利用指導
- 資料の探し方の講習会の企画・実施
- 文献複写等の取り寄せ・提供

## 企画

- 法人等の目標・計画に基づく図書館運営方針の策定、新規事業および予算の立案
- 図書館委員会等の開催
- 展示・イベント等の企画・実施
- アンケートの実施、統計の作成と分析

## 整備

- 図書館資料の選定・契約・購入・支払い
- 図書館資料の目録作成、国立情報学研究所データベース等への登録
- 貴重資料等のデータベースの作成
- 機関リポジトリ等による学術情報の発信

## 連絡調整

- 法人本部との連絡・調整
- 学部等の部局や教員等との連携
- 学外の図書館関連機関・団体との連絡・調整、会議・講習会等の開催

## 管理

- 図書館業務電算システム等の導入・管理
- 図書館施設・設備の設置・導入・管理
- 図書館予算の執行・管理
- 図書館職員やアルバイトの労務管理

<https://jinji.hiroshima-u.ac.jp/shiken/gijutukei/>(2025年9月3日閲覧)

# この時間でお話すること

- 資料の整理 ー分類と目録
- 近年の目録の動向
- NACSIS-CAT
- 目録業務の手順
- これからの目録



# 資料の整理 ー分類と目録

# 資料とは？

資料(resource)

図書館で提供する物理的形態を持つもの

現在、図書館で扱うものは物理的形態を持つものにとどまらない  
＝情報資源(information resources)

印刷資料

非印刷資料

電子資料

# コレクション・グリッド

		管理責任性	
		高	低
独自性	低	一般的な出版物	フリーアクセスの ウェブ資源
	高	特殊コレクション 稀観書、郷土資料 アーカイブ、手稿 学位論文…	研究・学習資源

Dempsey, Lorcan. Thinking about collections, Fiesole collection development retreat. 2007,  
<http://www.oclc.org/content/dam/research/presentations/dempsey/fiesole.ppt> (2025年9月3日閲覧)

# 情報資源組織

## 目録法

利用者が図書館で利用可能な資料を発見・識別・選択・入手できるよう、資料に対する書誌データ、所在データおよび各種の典拠データを作成し、適切な検索手段を備えて、データベース等として編成するもの

—日本目録規則2018年版(NCR2018)

## 分類法

類似のものでとりまとめたり、異なるものを他と区別したりして体系化すること

- 書架への配架のため(書架分類)
- 情報資源(書誌データ)の主題・テーマを検索するため(書誌分類)

どんな資料？

## 書誌データ

**VOL:** ISBN: 9784480033017 **PRICE:** 660円+税 **XISBN:** 4480033017

**TR:** ハムレット / シェイクスピア著 ; 松岡和子訳 || ハムレット

**PUB:** 東京 : 筑摩書房 , 1996.1

**PHYS:** 296p ; 15cm

**VT:** VT : Hamlet

**VT:** OR : The tragedy of Hamlet, prince of Denmark

**NOTE:** シリーズ番号はブックジャケットによる

**NOTE:** 戦後日本の主な『ハムレット』上演年表: p290-296

**NOTE:** 文献あり

**PTBL:** ちくま文庫 || チクマ ブンコ <BN00840084> [レ-10-1] . { シェイクスピア全集 / シェイクスピア著 ; 松岡和子

**AL:** Shakespeare, William, 1564-1616 <DA00034374>

**AL:** 松岡, 和子 (1942-) || マツオカ, カズコ <DA00129007>

**CLS:** NDC8 : 932

**CLS:** NDC9 : 932.5

**CLS:** NDLC : KS171

**SH:** NDLSH : Shakespeare, William(1564-1616) // A

**SH:** NDLSH : ハムレット || ハムレット // D

この資料はどこが持っている？

## 所蔵データ

. <CC1024122176> <FA014508> 広大西 @

集中機能を実現する仕組み

## 典拠データ

<DA00034374> CRTDT:19851101 CRTFA:<FA001787> RNWDT:20171113 RNWFA:<FA001878>

HDNG: Shakespeare, William, 1564-1616

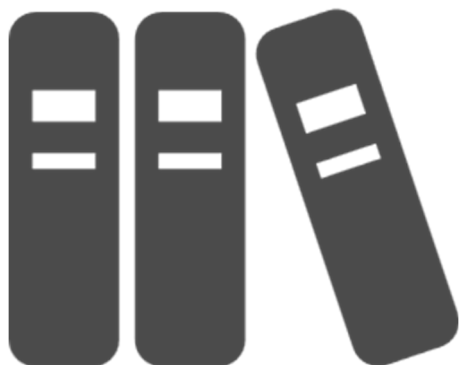
TYPE: p

DATE: 1564-1616

SF: シェイクスピア, ウィリアム, 1564-1616 || シェイクスピア, ウィリアム



冊子体目録



カード目録



オンライン目録  
(OPAC)



# 使用する工具

	日本	海外
目録規則	日本目録規則(NCR) 1987年版 → <b>2018年版</b>	英米目録規則(AACR) → Resource Description and Access (RDA)
分類法	日本十進分類法(NDC) 新訂10版(2014)	デューイ十進分類法(DDC) 第23版(2011)
		米国議会図書館分類表(LCC)
件名標目表	国立国会図書館件名標目表 (NDLSH)	米国議会図書館件名標目表 (LCSH)
	基本件名標目表(BSH)	

# 近年の目録の動向

# FRBR=書誌レコードの機能要件

## Functional Requirements for Bibliographic Records

・1990年代に国際図書館連盟(IFLA)によって作られ、1998年に報告書が出された。概念モデル

日本語訳

<http://www.ifla.org/files/assets/cataloguing/frbr/frbr-ja.pdf>

### 3つのグループ

グループ1 著作、表現形、体現形、個別資料

グループ2 個人、家族、団体

グループ3 概念、物、出来事、場所

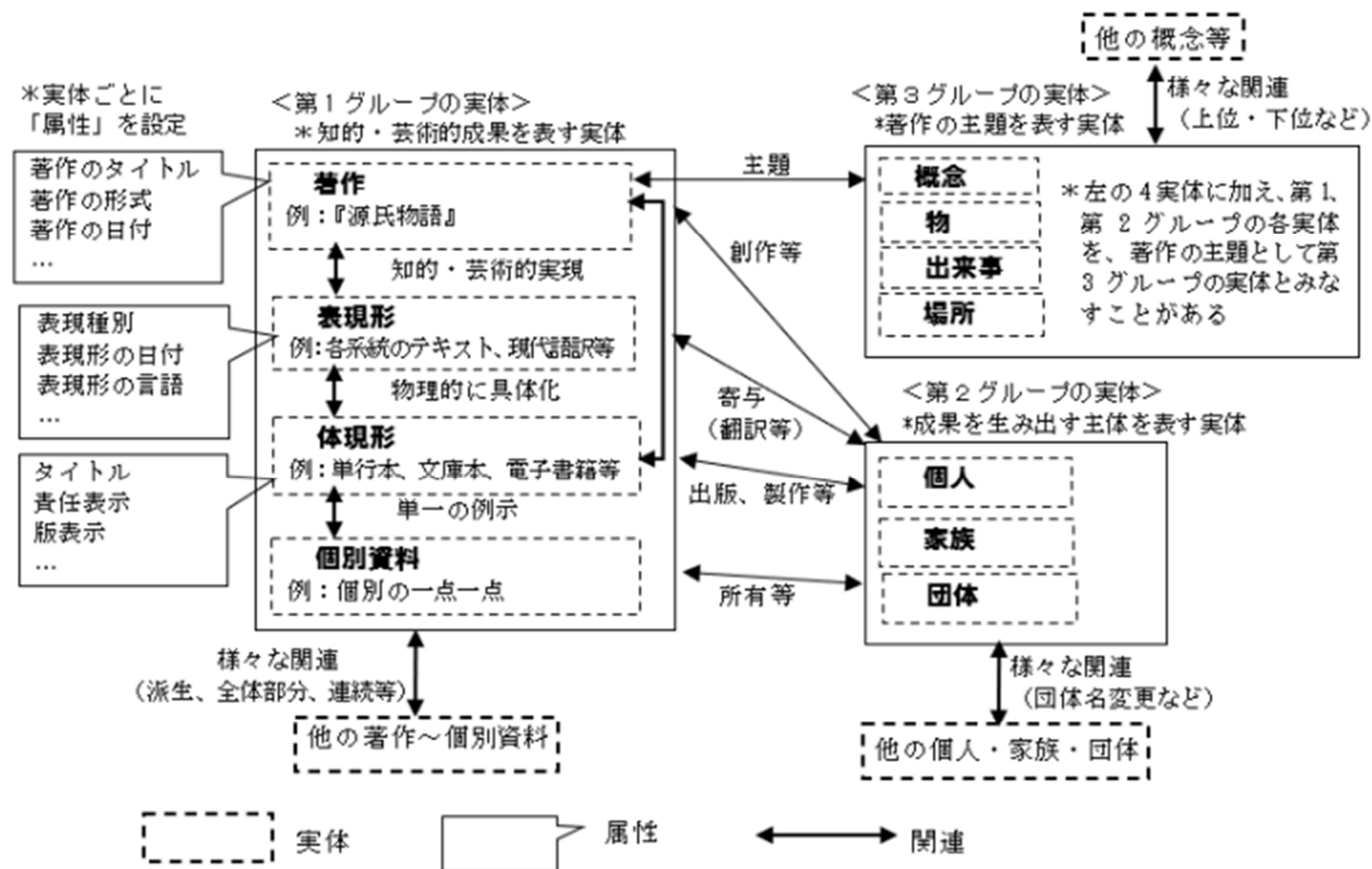


図 0.3 本規則が依拠する概念モデルの概要

[https://catill.bitbucket.io/KIJUN/m6\\_0\\_1.html](https://catill.bitbucket.io/KIJUN/m6_0_1.html) (2025年9月4日閲覧)

# 日本目録規則2018年版 (NCR2018)

FRBRを基盤とする ことによる特徴	FRBRモデルに密着した規則構造 典拠コントロールの位置づけ 全著作の典拠コントロール 関連の記録 資料の内容的側面と物理的側面の整理
RDAとの相互運用性の担 保に伴う特徴	エレメントの設定(増強など) 語彙のリスト 意味的側面と構文的側面の分離
その他、日本の事情等によ る特徴	「読み」等に関するルール 書誌階層構造の考え方 日本の出版状況、目録慣行を考慮

# 海外の動向

2010年 RDA

→FRBRモデルに準拠したAACR2の後継

2017年 IFLA LRM

→ FRBRモデルの統合版かつ後継

2020年 RDAの改訂

→IFLA LRMに準拠し大幅改定

# NACISIS-CAT



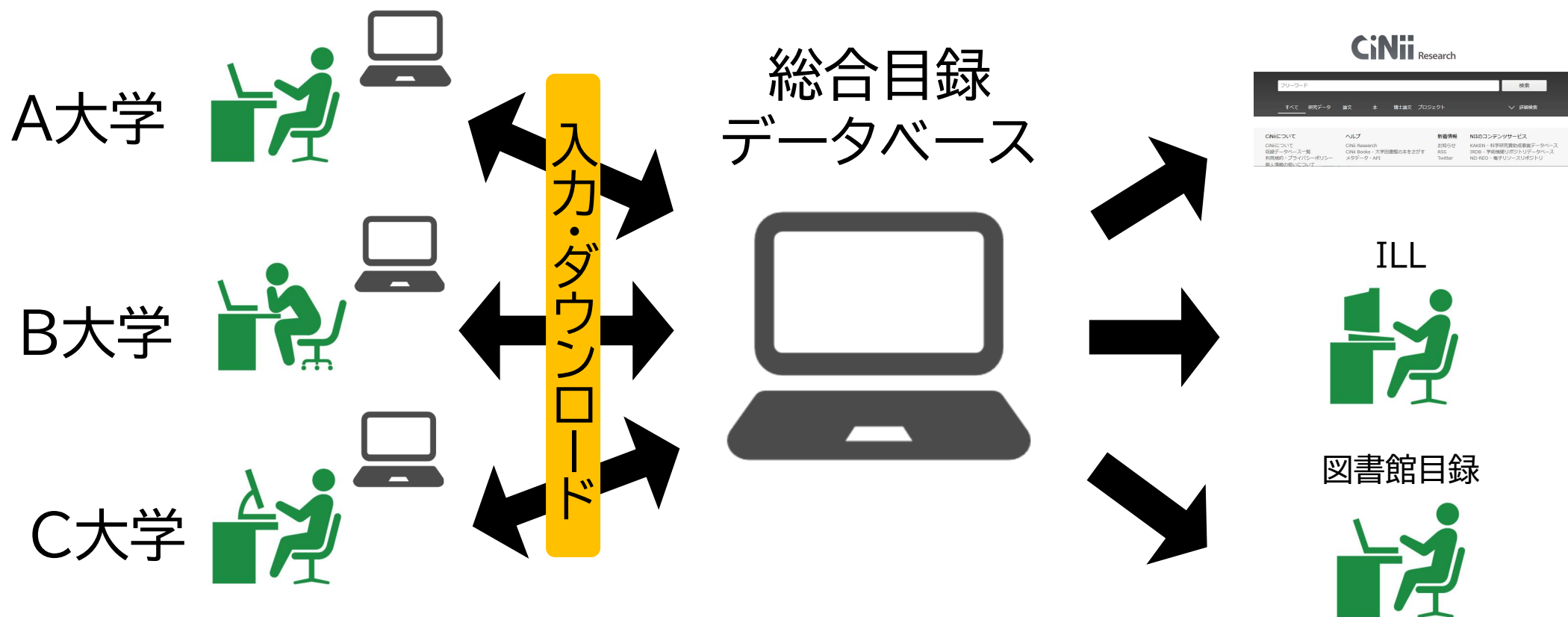
# NACISIS-CAT

オンライン共同分担目録方式により全国規模の総合目録データベース(図書/雑誌)を形成するためのシステム

- 目録業務の省力化
- 標準的なデータ作成
- 典拠コントロール
- 自館のデータを簡単に作成

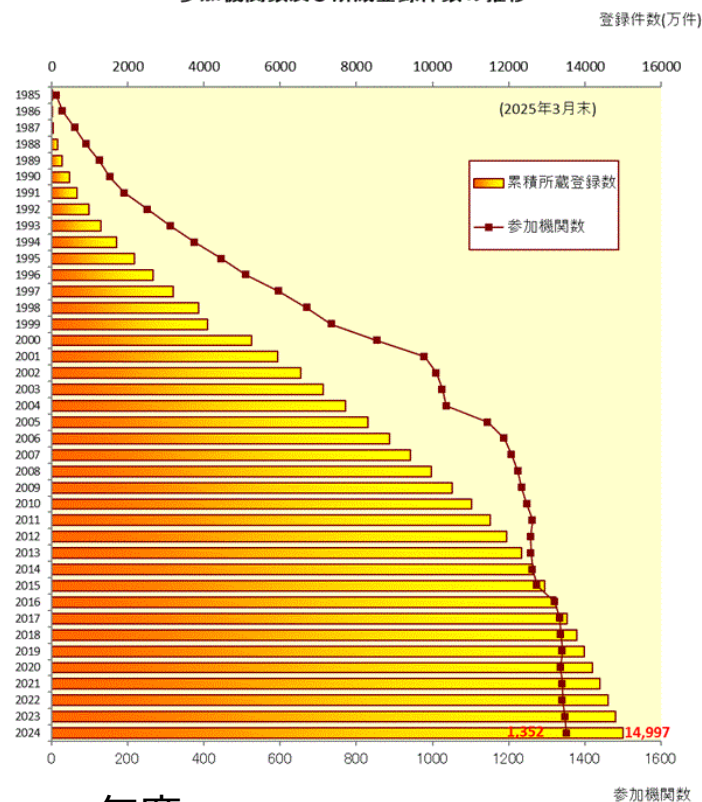
[https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/catill/2023-12/about\\_cat.pdf](https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/catill/2023-12/about_cat.pdf)  
(2025年9月4日閲覧)

# 協同分担方式



# NACSIS-CAT

参加機関数及び所蔵登録件数の推移

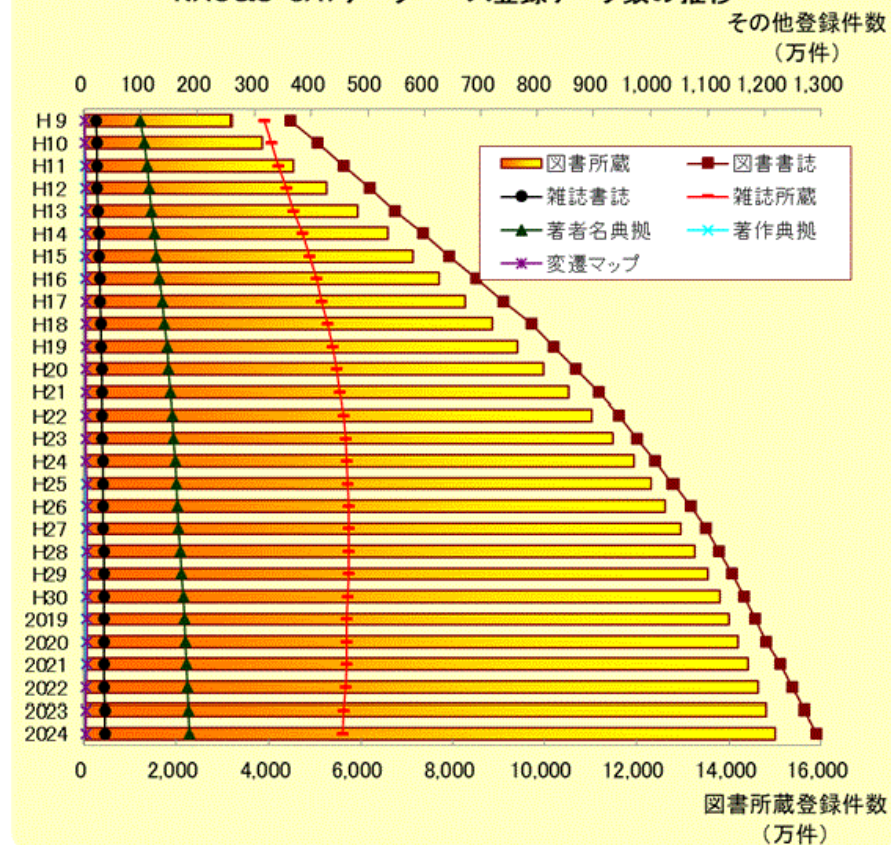


2024年度

所蔵登録数149,970,177 参加機関数1,352

<https://contents.nii.ac.jp/catill/stats/cat/transition> (2025/08/28閲覧)

NACSIS-CATデータベース登録データ数の推移



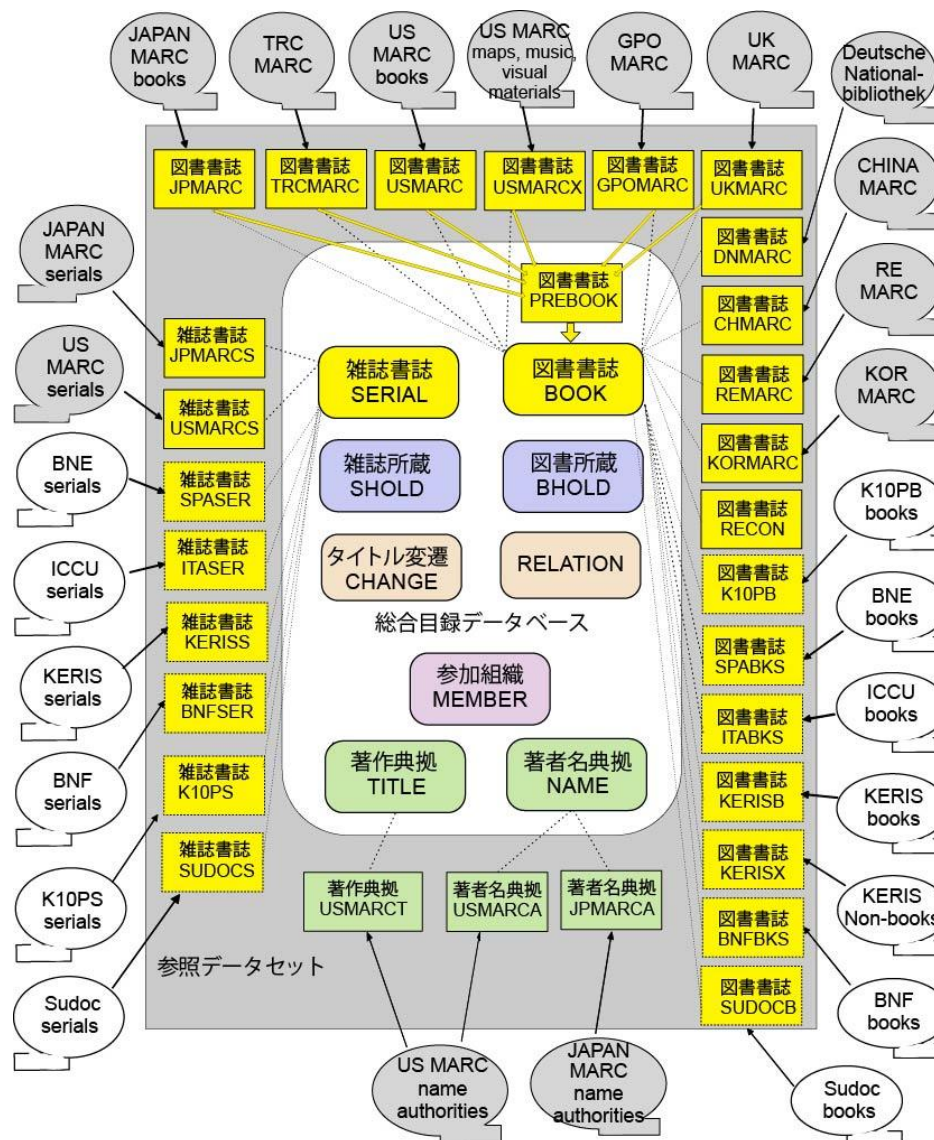
<https://contents.nii.ac.jp/catill/stats/cat/transition> (2025/08/28閲覧)

# NACSIS-CATの データ構成

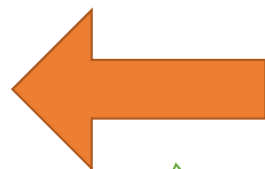
図書と雑誌に分かれ、それぞれ書誌  
データセットと所蔵データセットが中心

典拠コントロールを行うための著者名  
典拠及び著作典拠データセットがあり、  
これらのデータセットのまとまり全体で  
総合目録データベースを形成

外周には、参照データセットあり



# 適用細則



# <規則> NCR2018

CATでは何を  
選択する？

#2.3.0.4.1	数字	版次などは、情報源から#1.10~#1.10.11 別法に従って記録する。アラビア数字以外の数字、ローマ字、キリル文字等を含むものも、情報源における表示のまま記録する。 第2版 (情報源の表示: 第二版) New ed. (情報源の表示: New ed.) Second edition (情報源の表示: second edition)	#2.3.2F	第2版	別法を適用
#2.3.0.4.1	数字 別法	版次などは、情報源から#1.10~#1.10.11 別法に従って記録する。*ただし、漢数字、ローマ数字、語句で表記される数字等は、#1.10.10.1~#1.10.10.4 に従ってアラビア数字で記録する*。 第2版 (情報源の表示: 第二版) New ed. (情報源の表示: New ed.) 2nd edition (情報源の表示: second edition)	#2.3.2F	適用	



CATではどう記  
録していく？



- ・目録情報の基準 第6版
- ・目録システムコーディングマニュアル

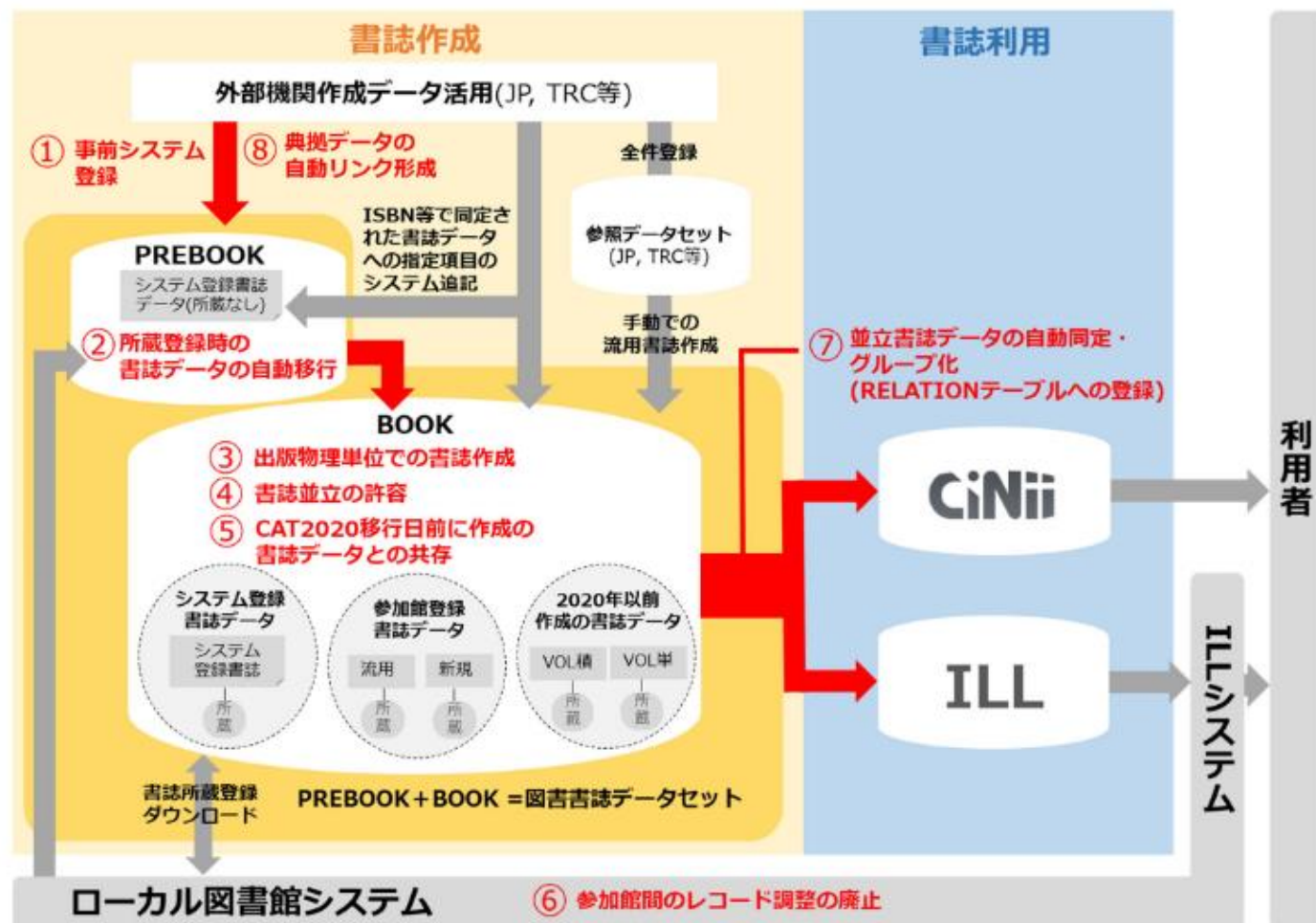
**New 2024年10月開始**

# NCR2018適用のポイント

- ・CAT2020の作業方針(軽量化・合理化)の変更はしない
- ・和洋資料での準拠する目録規則の統一
- ・2024年10月30日以前のデータへの遡及的変更は行わない
- ・コーディングマニュアルの章立ての変更
- ・FRBRモデルへの対応
- ・用語の変更
- ・つながる目録～「関連」に関するデータ要素が重視
- ・他の機関で作成されたデータとの互換性を高める



# CAT2020のポイント



出典: NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について(最終まとめ)

# NACSIS-CATのことを勉強したい場合はSL教材をぜひ利用しましょう

<https://contents.nii.ac.jp/hrd/product/cat/slcat>



top



## NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材

### ■ 研修・講習会等

- ▶ 教育研修事業要綱
- ▶ 研修申込システム利用手順
- ▶ 申込から受講まで
- ▶ 研修申込システム仮申込機能
- ▶ 教育研修事業 連絡担当者情報の変更
- ▶ よくあるご質問
- ▶ お問い合わせ
- ▶ 終了した研修・講習会等
- ▶ 過去の広報

講習会

### NACSIS-CAT/ILLセルフラーニング教材の利用についてのお知らせ

2024/10/31 NCR2018に対応した修得テスト、セルフチェックテストを公開しました。これ以後、補足資料『日本目録規則2018年版』準拠後のNACSIS-CATの「目的編」「解説編」は修了証書取得のための受講必須教材となります。

2024/09/09 図書コース・雑誌コース補足資料『日本目録規則2018年版』準拠後のNACSIS-CATの「目的編」「解説編」を公開しました。本教材に対応した修得テスト、セルフチェックテストは2024/10/31公開予定です。

2022/04/06 2022年3月末をもって日韓ILLが終了したことにより、ILL編の一部を修正しました。

2020/12/16 図書コースの「検索課題集」「登録課題集」「検索課題集解答例集」「登録課題集解答例集」はCAT2020に対応しました。

2020/08/12 各教材の参考資料はCAT2020に対応しました。

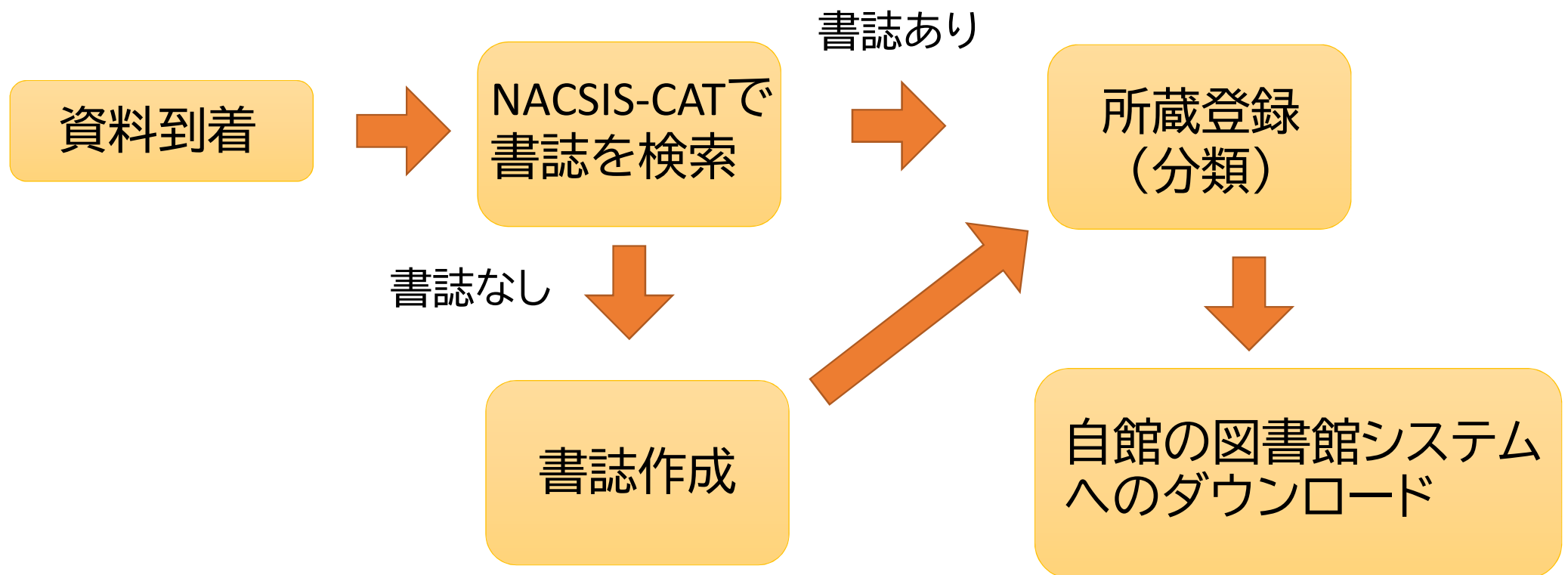
2020/08/03 図書コースの補講「CAT2020とは -図書の目録が変わる・ここがポイント-」は受講必須教材となりました。修得テスト、セルフチェックテスト、印刷用テキストはCAT2020に対応しました。

2020/06/18 図書コースの補講「CAT2020とは -図書の目録が変わる・ここがポイント-」は、2020年8月より受講必須教材となります。



# 目録業務の手順

# 目録業務の手順



# 新着資料を登録したら終わり？

装備と配架

ラベルを貼ったり、  
ブッカーをかけたり、  
書架に並べたり…

データの修正作業

レコード調整  
資料の除籍に伴うデータの削除など…

その他

- ・遡及入力
- ・電子資料の登録
- ・システムに関すること

データは常に最新の状態を保つことが重要！

# これからの目録

## これからの学術情報システムの在り方について



[https://www.nii.ac.jp/openforum/upload/20240612\\_of2024\\_korekara\\_1\\_koyama.pdf](https://www.nii.ac.jp/openforum/upload/20240612_of2024_korekara_1_koyama.pdf)  
(2025/09/02閲覧)

	委員会	電子リソース	目録システム
2012	委員会設置	ERDBプロトタイプ構築プロジェクト（-2013）	
2014		電子リソースデータ共有WG	
2015	<u>「これからの学術情報システムの在り方について」</u>	電子リソースデータ共有作業部会 設置 ERDB-JP公開	NACSIS-CAT検討作業部会 設置 「NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について（基本方針案の要点）」
2016		「電子リソース管理システムの利用可能性の検証について（平成28年度最終報告）」	「基本方針」 「実施方針」
2017	これからの学術情報システムに関する意見交換会2017	「同（2017年度最終報告）」	
2018	<u>「これからの学術情報システムの在り方について（2019）」</u>	「電子リソース業務の管理基盤・ワークフロー構築についての検討（2018年度報告）」 他	「NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について（最終まとめ）」（→CAT2020）
2019	作業部会の再編	システムモデル検討作業部会 システムワークフロー検討作業部会	
2020			CAT2020開始（8/3）
2021		「大学図書館向け学術情報システムを36年ぶりに一新」	
2022		ユーザーグループ試行運用 「これからの学術情報システムのメタデータ収集・作成方針について(2022)」	
2023	作業部会の再編 <u>「これからの学術情報システム構築検討委員会 が実現を目指すこと」</u>	ユーザーグループ本運用（4/1） ユーザーグループ運営作業部会、システムワークフロー検討作業部会	新NACSIS-CAT/ILL（1/31）
2024	<u>「これからの学術情報システムの在り方について（2024）」</u>		

[https://www.nii.ac.jp/openforum/upload/20240612\\_of2024\\_korekara\\_1\\_koyama.pdf](https://www.nii.ac.jp/openforum/upload/20240612_of2024_korekara_1_koyama.pdf)（2025/09/02閲覧）

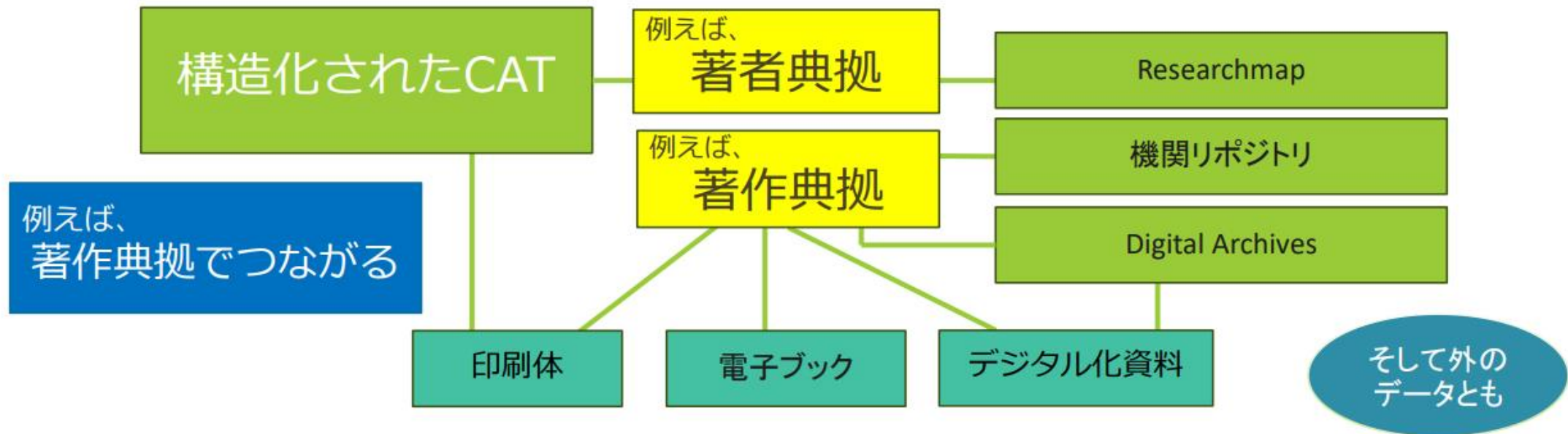
# 1. 在り方(2024)のビジョン

- (1) 研究者や学生等が研究、教育、学習に必要な学術情報をワンストップで、簡便に検索、入手できる。
- (2) 図書館は、多様なメタデータの組み合わせや、共同利用システムの活用により、目録業務の効率化をはじめ、最適なサービスを実現できる。
- (3) 図書館はまた、学内の関係部署と連携し、大学等の機関で生産される論文、図書、研究データ等の成果をデータとして把握でき、学内外のユーザーに提供できる。



# 未来につながるCAT

共同利用システムに集約した電子情報資源のメタデータと印刷体のメタデータに加え、デジタル化資料のメタデータを有機的に結合させた統合的なデータベースを構築するとともに、効率的に運用できる次世代 ILL 等を実現する。



[https://www.nii.ac.jp/openforum/upload/20240612\\_of2024\\_korekara\\_3\\_kinoshita.pdf](https://www.nii.ac.jp/openforum/upload/20240612_of2024_korekara_3_kinoshita.pdf)  
(2025/09/02閲覧)



# 参考文献1

- 木村麻衣子.『日本目録規則2018年版』入門. 日本図書館協会, 2022
- 柴田正美. 情報資源組織論.新訂版. 日本図書館協会, 2016
- 根本彰, 岸田和明. 情報資源の組織化と提供. 東京大学出版会, 2013
- 馬場俊明. 図書館情報資源概論. 新訂版. 日本図書館協会, 2018

# 参考文献2

- NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について(最終まとめ)  
<https://doi.org/10.20736/0002000919>
- NACSIS-CAT・NCR2018適用はじまる：コーディングマニュアル・目録情報の  
基準改訂説明会  
<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/event#materials>
- NACSIS-CAT関連マニュアル  
<https://contents.nii.ac.jp/catill/manuals/cat/mannual>
- 日本目録規則2018年版  
<https://www.jla.or.jp/committees/mokuroku/ncr2018/>
- NACSIS-CAT セルフラーニング教材  
<https://contents.nii.ac.jp/hrd/product/cat/slcat>
- 学術情報基盤オープンフォーラム2024  
[https://www.nii.ac.jp/openforum/2024/day2\\_korekara.html](https://www.nii.ac.jp/openforum/2024/day2_korekara.html)



ご清聴いただき  
ありがとうございました

